死ぬまで誰にも、言わないつもりだった 傷の、果てに、愛が、見える

白いカラス

私達は他人の痛みに、 もう少しだけ共感したり理解を示したり、 赦したりしながら生きていけるはずです。

主演ニコール・キッドマン

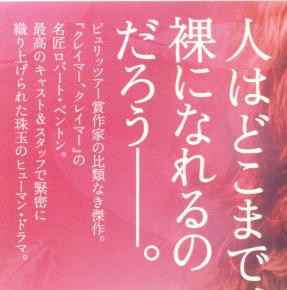
The Human Stain

Lakeshore Entertainment Miramax Films on Ginerenta Process, Lakeshore Entertainment/Stone Village Production on Ginerenta-Cincepsilon Authory Hopkins Nicole Kidman
"The Human Stain" Ed Harris Carry Sinise Comets Deborah Aquila, C.S.A. Avy Kaufman, C.S.A. Sussemble Doubl Bisstone State Rachel Portman Come Description on the Computer State Christopher Tellefsen, A.C.E.

The Human Stain" Ed Harris Carry Sinise Comets Deborah Aquila, C.S.A. Avy Kaufman, C.S.A. Sussemble Double Bisstone State Portman Comets Description on the Computer State Christopher Tellefsen, A.C.E.

The Computer State Chri

ニュール・キッドマン!めぐりあう時間たち。アンノニー・ホプキンス『日の名残り



男は、驚くべき秘密を抱えていた。 女もまた、深い傷を負っていた。 そして2人は、出会った。 深く心に染み入る、ある愛の物語

人種を偽るのと引き換えに、大学教授として権威ある地位を手に入れたコールマン・シルク。

だが、些細な事件をきっかけに職と妻を失った彼は、怒りと喪失の日々のなかで、幸運に見放されたとしか いいようのない女性フォーニアと出会う。「これは私の初恋でもないし、最高の恋でもない。でも、最後の 恋なんだ」。周囲の警告をよそに、フォーニアとの関係にのめりこんでいくコールマン。そこに魂の救いを









「日の名残り」 コール・キッドマン×アンソニー・ホプキンス、 2人のアカデミー賞俳優が魅せる、 いつまでも心に残る魂の名演

『めぐりあう時間たち』(02)でアカデミー主演女優賞を受賞し、華やかな美貌に加え卓越した演技力をも 認められた、今もっとも旬な女優ニコール・キッドマン。『ドッグヴィル』『コールドマウンテン』に引き続き 日本公開される本作では、義父の性的虐待、夫の暴力、失火による子どもの死という袋小路の人生を静 かに受け止めて生きる薄幸の女性を演じているが、ニコール自身のトム・クルーズとの離婚直後の辛い 時期に撮影されたこともあってか、虚勢と脆さとをあわせもつ複雑な女性像を感動的に造り上げている。 半世紀にわたり偽りの人生を生きた一人の男の苦悩を、白眉ともいえる名演で魅せたアンソニー・ホブ キンスとの共演は、もはや芸術の領域ともいえ、忘れられない記憶を残すだろう。



善悪で裁かず、くっきりした解決も求めず、人の心の闇を見つめ、 ただそれに身を寄せるばかりのアメリカ映画があることに、なにかとてもほっとする思いだった。

.山田太一さん(作家・脚本家)

渇いていても傷ついていても、心は誰かを求めている。 愛おしさいっぱいの映画。

竹下景子。んは煙

白い肌に生れた黒人の愛と苦悩は、果てしなく続く。 わたしは何者なのか、と。哀しいのは人間の性である。

梁石日 まん(作家)

感動

の輪が広がっています

なぜ?なぜですか?と何度画面に問しかけたことか。 ホプキンスとキッドマンの寄り添う姿に涙。

...山本容子 # A (網版圖像

生命の証とは。生きていく為の勇気!挑戦!エネルギー!演者に感動しました。

切ないほど苦しく悲しいドラマなのに、穏やかな安らぎが心に残りました。 繊細な名作です。

麻実れいまなは

恋すべき女はそこにいた。 が、彼女は、あの人喰いアンソニー・ホプキンスに、ベッドでこう言うのだ。 「朝までには帰ってね」と。これは地獄の恋愛映画である。

唐十郎さん(劇作家・役者・小説家

私たちは、"愛する人" "愛される人"に生涯何人出逢うことができるのだろう―。 そんなことをふと考えてしまう物語でした。

白石美帆。おん(タレント)

アメリカ社会のもつ暗い深淵と 人間の心のもつ複雑な翳が幾重にも織り込まれる。

われわれ日本人が実体験として身近に持ち得ないアメリカ独自の問題をうかがい知ることのできる映画である。

日野原重明。人《聖路加國際

人種差別や暴力とは縁のない私ですが、生きて苦しむ人生…。死んで幸せになる人生…。 そういう人間の生涯もあるんだと、この映画を見て、強く心に感じました。

八代亜紀まんは数手

6月19日(土)より"哀切"のロードショー 特別鑑賞券¥1.300(稅込)好評発売中 ※一部劇場を除く